

第6節

人がふれあう市民協働と  
自治体経営をささえるまち

# 1 市民と行政との協働の推進

## (1) 政策の目標

市民と行政とがそれぞれの役割を明確にしなが  
ら、真の豊かさが実感できる地域社会を実現  
するため、市民、ボランティア、NPO\*など  
が行政とともにまちづくりを進めます。

## (2) 現状と課題

- 情報公開の進むなかで、行政に対する市民の  
関心は高く、市民の市政への参画機会の拡大  
が求められています。
- 市民の間では、自らの知識や経験を生かし、  
社会に貢献したいという意欲が高まっており、  
市民活動の促進や市民と行政の協働を推  
進する環境の整備が求められています。
- 行政を運営するなかで、自治会等の果たす役  
割も大きくなるなか、コミュニティ活動の促  
進が求められています。

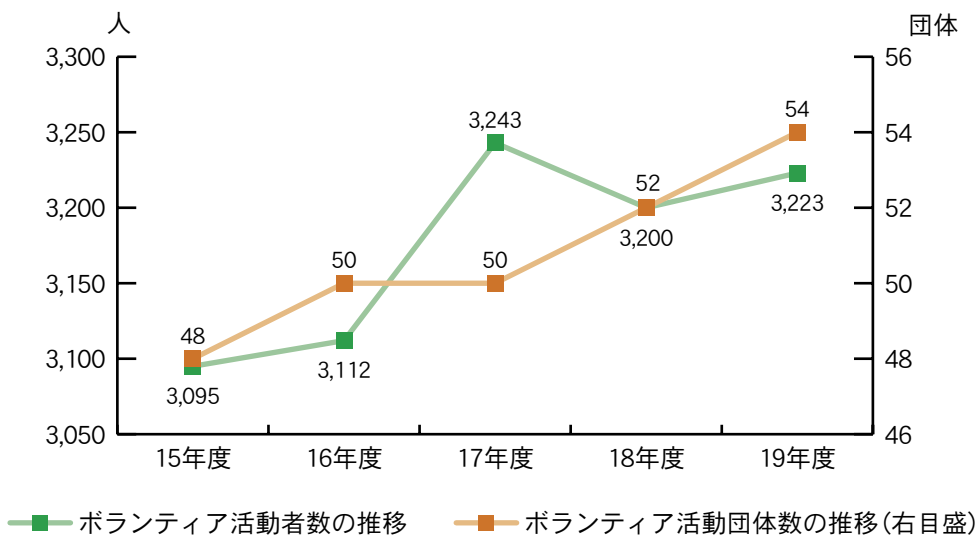


おやべメルヘン玉手箱（ホームページ）



まちづくり研究会

ボランティアの状況の推移



(小矢部市社会福祉協議会資料)

### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①市政への参画機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎市民満足度調査の実施</li> <li>◎市と市民が協働で活動するためのルールづくり</li> <li>●市民から直接意見を聴く機会（市長への手紙、トークの日、タウンミーティング、パブリックコメント*等）の充実</li> <li>●市政出前講座「めるへん市民塾」の内容充実</li> <li>●市民にわかりやすい広報誌や市政に関する説明書（予算概要書など）の作成</li> <li>●自治会連合会との連携強化や女性議会の充実</li> </ul>
②市民活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎市民ボランティア活動やNPO*法人設立・活動への支援</li> <li>◎市民税1%を財源とした市民活動支援事業の実施</li> <li>●行政のコーディネート*機能の強化</li> </ul>
③協働を推進する環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ボランティアセンターとの連携強化</li> <li>◎まちづくり市民組織への支援</li> <li>●ボランティアリーダーの発掘・育成及びボランティアサポーターの養成（各種講座の開設など）</li> </ul>
④コミュニティ活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎既存施設を活用したコミュニティ拠点の整備充実</li> <li>◎コミュニティ（地域）リーダーの育成</li> <li>●コミュニティ活動に必要な施設・設備の充実</li> <li>●個性豊かな地域づくり活動の推進</li> </ul>

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 市政の担い手は市民であるという認識と様々な機会における市政への参画
- 身近な地域活動への積極的な参加
- 市内各種団体と行政との連携強化
- 市が設置する協議会、委員会等の市民枠への積極的な応募

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
NPO*法人数	市内で設立されたNPO*法人の数	7法人 (平成19年度)	15法人	富山県の平成27年度目標数値の36法人/10万人（平成17時点で全国第2位）を参考に、NPO*法人数を設定する。

\*コーディネート：ここでは、市民（団体を含む）と市役所の間、市民（団体を含む）相互間で調整の役割を果たすこと。

## 2 男女共同参画社会の推進

### (1) 政策の目標

女（ヒト）と男（ヒト）がともに尊重し合い、いきいきと生活できる社会を目指します。

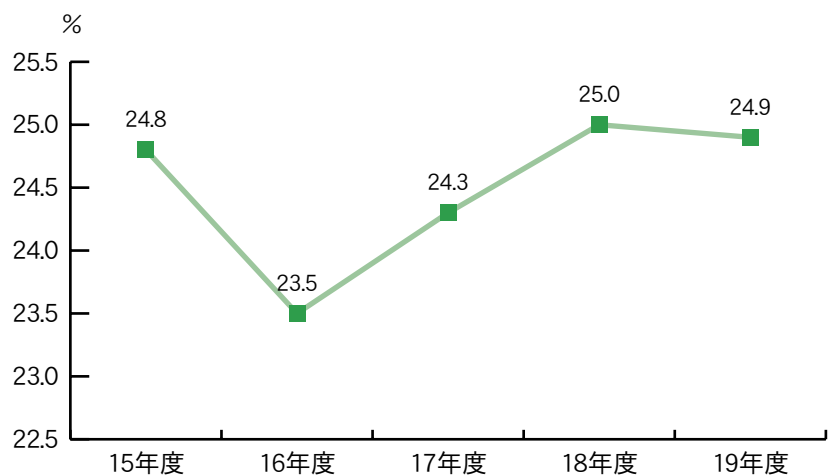
### (2) 現状と課題

- 女性の社会進出が進むなか、依然として家事、育児などにおける女性の負担は重く、男女共同参画社会\*への意識啓発の推進が求められています。
- 地域社会や職場において、方針決定の場などへの女性の参画は、依然として少なく、男女共同参画社会\*への推進体制の充実が求められています。



男女共同参画研修会

審議会における女性委員の割合の推移



(市民協働課資料)

### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①意識啓発の推進	◎家庭・地域・職場における男女共同参画の推進 ●男女平等意識やジェンダーフリー*の普及・啓発 ●企業における男女雇用機会均等などの啓発 ●学校における男女平等教育の促進
②推進体制の充実	◎「男女共同参画プラン」の推進 ●各種委員会等への女性参画の拡大 ●男女が家庭及び地域に充実感を覚える環境づくりの整備 ●市男女共同参画推進員活動の支援

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 女性の各種団体への参加
- 男女共同参画意識の向上



男女共同参画推進員による寸劇

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
審議会における女性委員の割合	各種審議会における女性委員の割合	25.0% (平成19年度)	50.0%	女性の意見を取り入れることで、細やかな視点からソフト事業の充実を目指す観点から、50%への増加を目指す。
男女共同参画フォーラム参加人数	男女共同参画に対する認識を深めるための講座や講演への参加者数	300人 (平成19年度)	600人	フォーラム等を通じて、女性参画に対する理解・認識を深めることとし、参加者の増加を目指す。

\* ジェンダーフリー：「ジェンダー」とは、「女らしさ」「男らしさ」や「女の役割」「男の役割」など、社会的・文化的につくられた性差のことをいう。「ジェンダーフリー」とは、「ジェンダー」にとらわれない自由な意思や考え方のこと。

### 3 人権の尊重

#### (1) 政策の目標

市民一人ひとりの基本的人権が尊重される、差別や偏見のない明るい地域社会を実現します。

#### (2) 現状と課題

- いじめなどの子どもの人権や高齢者への虐待の問題など人権問題が複雑化するなか、人権教育・啓発の推進や相談体制の充実、人権擁護対策の強化が求められています。
- 個人情報を守り、市民の権利利益を保護するため、個人情報の保護対策の強化が求められています。



人KENまもる君と啓発活動



人権擁護の人形劇

### (3) 施策の方向性

施策名	施策の内容
①人権教育・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生命の大切さや人権の尊重などを学ぶことの啓発</li> <li>●地域における学習会及び講演会の開催</li> <li>●広報・ケーブルテレビの活用による人権意識の啓発</li> </ul>
②相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権問題・法律問題・行政問題に対する相談体制の充実</li> </ul>
③人権擁護対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●被害者の速やかな保護と支援</li> <li>●相談員によるカウンセリングの実施</li> <li>●児童・高齢者への虐待及びいじめへの対応強化</li> </ul>
④個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内事業所に対する個人情報保護制度の周知</li> <li>●市ホームページや市広報等による適正な取扱いの周知</li> <li>●市が保有する個人情報保護の徹底</li> <li>●市民に対する啓発の実施</li> </ul>

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 人権問題に対する講演会や研修会への参加
- DV\*等的人権侵害に係る事象を発見した場合の迅速な警察等の相談機関への連絡

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
人権研修会の参加者数	一般対象と職員対象の研修会・講演会参加人数	73人 (平成19年度)	300人	参加者数を、人権に対する意識化の度合いとみる。
啓発活動	啓発回数 (CATV*、HP)	2回 (平成19年度)	12回	まず、市民への働きかけを行い、その結果がどうであるかを評価したい。

\* DV : Domestic Violenceの略で、一般的には、「夫や恋人など親密な関係にある、又はあった男性から女性に対してふるわれる暴力」という意味で使用される。

## 4 開かれた市政の推進

### (1) 政策の目標

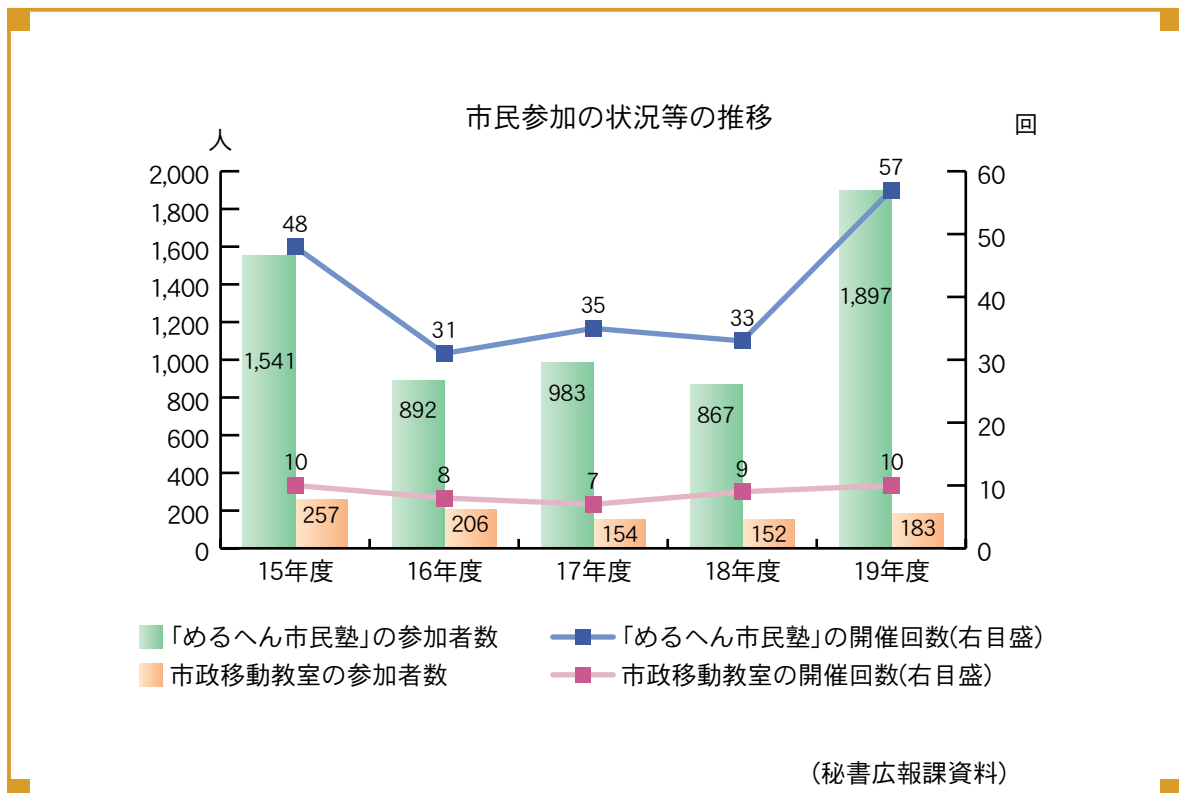
市政の現状を分かりやすく市民に伝え、市民の意見が反映される開かれた市政を推進します。

### (2) 現状と課題

- 市民が参画した開かれた市政を進めるには、情報の共有が大切であり、市政の広報・広聴の充実が求められています。
- 市が保有する情報を積極的に開示及び提供することは、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるうえで、必要であることから、市政に関する情報公開の推進が求められています。



市民情報コーナー





### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①広報・広聴の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報おやべを活用した行政情報の提供の拡充</li> <li>●めるへん市民塾を市民が活用しやすくする体制づくりと講座内容の充実</li> <li>●市民の声を施策に反映できる仕組みづくり</li> <li>●ケーブルテレビやインターネットの活用による議会中継の整備充実</li> </ul>
②情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎パブリックコメント*（市民意見募集）の推進</li> <li>◎市民への情報提供の充実</li> </ul>

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 「めるへん市民塾」のより多くの活用
- 市政に関する意見や提案の実施

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
めるへん市民塾 開催数	年度間の「めるへん市民塾」の開催数	41回/年 (平成15年～19年 の5年間平均)	50回/年	市政への関心の高さを反映する指標とし、年50回の開催を目指す。



広報おやべ(表紙)

## 5 新しい自治体経営の確立

### (1) 政策の目標

効率的な行財政経営と市民サービスの質的向上を目指します。

### (2) 現状と課題

- 行政事務の複雑化や多様化に伴い、分かりやすく利便性の高い市民サービスが期待されており、市民サービスの向上が求められています。
- 地方交付税の大幅な削減など歳入確保が難しいなか、効率的な行財政運営の推進が求められています。
- 定員管理計画に基づく職員数の大幅な削減のなか、職員の意識改革と組織の活性化が求められています。
- 交通手段の発達などにより市民の生活行動圏が広域化していることから、広域行政の推進が求められています。
- 歳入予算に占める市税の割合が高くなるなか、収納率低下が予想され、納税環境の充実に求められています。



総合案内窓口



外部評価委員会意見書提出

### 財政状況の推移

億円

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
一般会計予算	131	136	143	133	135	127	124	123
市税総額	45	44	43	41	41	40	41	45
地方交付税	47	45	42	38	34	33	30	29

(一般会計予算、地方交付税…財政課資料、市税総額…税務課資料)

### (3) 施策の方向性

◎は重点プロジェクト

施策名	施策の内容
①市民サービスの向上	◎各種申請における電子申請*の導入（県内の市町村と共同開発） ◎総合的な相談窓口の充実 ●住基カードの普及・利用を推進することによる活用分野の拡大 ●各種証明書発行のサービスの充実
②効率的な行財政運営の推進	◎定員管理計画に基づく職員数の削減・総人件費の抑制 ◎事務事業評価システムと連動した事務事業の見直し ●新電算システムの導入による事務事業の効率化の推進 ●指定管理者制度*の活用など民間委託や民営化への取組の推進 ●市民と行政の役割の見直し
③職員の意識改革と組織の活性化	◎職場における能力開発の推進 ◎人事評価制度の確立・推進 ●自己啓発の取組を奨励する学習的な職場の風土づくり ●職員提案制度の推進 ●職場のニーズに応じた能力開発を支援する研修の実施
④広域行政の推進	●広域行政の推進及び体制の整備 ●新たな広域連携事業（消防等）への取組 ●福祉、消防・防災対策、観光振興など、高度化、多様化する行政サービスや課題に対応するため、市町村の枠を越えた近隣自治体との連携強化
⑤納税環境の充実	◎口座振替の推進 ◎納付環境整備の拡充（クレジットカード納税等） ●納税貯蓄組合から納税推進組織への移行 ●租税教育の推進

### (4) 期待する市民参加・市民と行政との協働

- 電子申請\*の利用
- 納税意識の高揚と口座振替利用の推進

### (5) 目標とする指標

指標	指標の説明	基準数値 (年度等)	目標数値 (30年度)	目標設定の考え方
実質公債費比率	収入に占める、実質的な公債費の割合	21.3% (平成19年度)	18.0%以内	公債費負担の軽減に取り組み、現在の許可団体から協議団体への移行を目指す。
経常収支比率	経常一般的な収入のうち、義務的な経費に充てられた割合	90.3% (平成19年度)	90.0%以内	弾力的な行政運営を確保するために0.3%減を目標にする。
市税収納率	市税調定額に対する収納率	92.6% (平成15～19年度の5年間平均)	93.3%	地方への税源移譲のため個人市民税の収納率低下が予想されるが、市税全体では過去5年間で最高の収納率確保を目指す。